

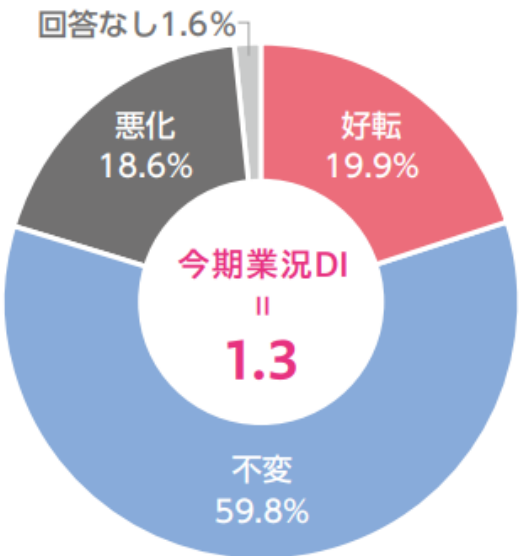
経済状況データ（DI）（2026年1月～3月期）

調査時期：2026年3月16日～4月9日
対象期間：2026年1月～3月期、及び
2026年4月～6月期見通し
調査対象：東京商工会議所世田谷支部
会員（3,591社）
回収状況：合計446社（回収率12.4%）

業況

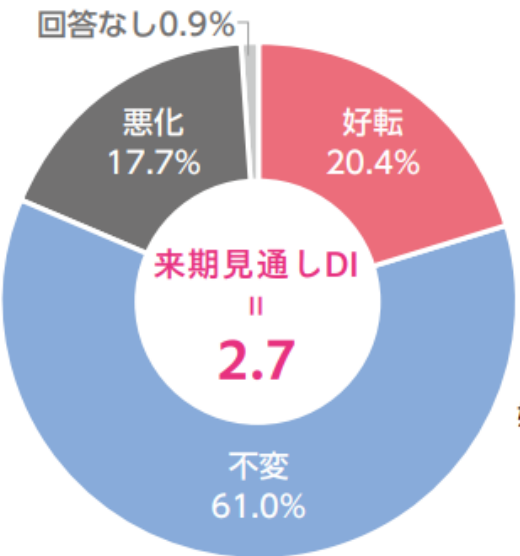
今期（2026年1～3月期実績）の業況DIは、+1.3ポイントで前期から▲7.2ポイント悪化した。
来期の業況見通しDIは+2.7ポイントとなり、前回調査より▲11.1ポイント悪化する見通し。

今期の業況（前期との比較）



DI 1.3=
好転19.9%－悪化18.6%
※前回調査(8.5)から
7.2ポイント悪化

来期の見通し（今期との比較）



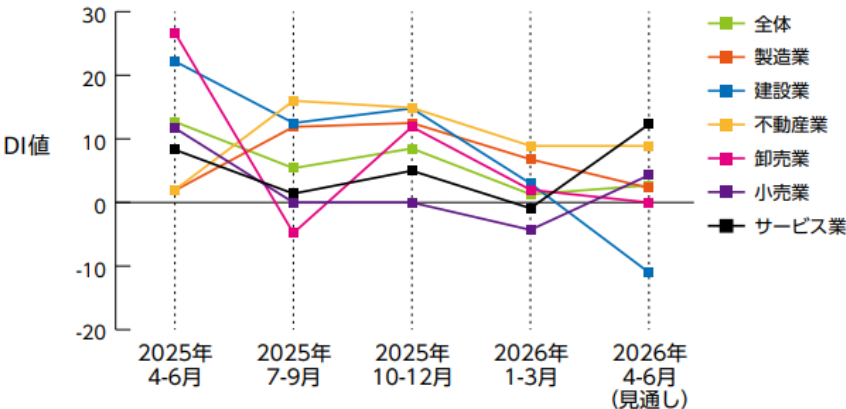
DI 2.7=
好転20.4%－悪化17.7%
※前回調査(13.8)から
11.1ポイント悪化

※DI（Diffusion Index）…DI(%)=「良い」「増加」等企業割合－「悪い」「減少」等企業割合。各項目について、「増加」「好転」とする企業の割合から、「減少」「悪化」した企業の割合を差し引いた値。プラスは全体として「増加」「好転」したとする割合が多く、景気が上向きの傾向を示す。マイナスは景気低迷の傾向を示す。

経済状況データ（DI）（2026年1月～3月期）

業種別の 動向

今期の業種別DIは、全業種悪化となった。大幅に悪化したのは「建設業」+3.0(前期比▲11.8)で10ポイント以上悪化した。次いで「卸売業」+2.0(同▲9.9)も約10ポイントの悪化であった。来期は「不動産業」+8.9(当期比+0.0)は増減なし、「サービス業」+12.3(同+13.2)、「小売業」+4.3(同+8.6)の2業種は増加する見通し。



全 体	12.7	5.4	8.5	1.3	2.7
製 造 業	1.9	11.9	12.5	6.8	2.3
建 設 業	22.2	12.5	14.8	3.0	▲11.0
不 動 産 業	2.0	16.0	14.9	8.9	8.9
卸 売 業	26.7	▲4.8	11.9	2.0	0.0
小 売 業	11.7	0.0	0.0	▲4.3	4.3
サービス業	8.3	1.4	5.0	▲0.9	12.3
	2025年 4-6月	2025年 7-9月	2025年 10-12月	2026年 1-3月	2026年 4-6月 (見通し)

経営上の問題点

順位	項 目	回答数	回答率	前回順位	順位	項 目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	223	50.0%	— 1	11	事業資金の借入難	25	5.6%	↑ 13
2	人件費の増加	156	35.0%	— 2	12	生産設備の不足・老朽化	19	4.3%	— 12
3	人件費以外の経費の増加	150	33.6%	— 3	13	取引条件の悪化	15	3.4%	↑ 18
4	従業員の確保難	118	26.5%	— 4	14	大企業(大型店)進出による競争激化	13	2.9%	↓ 11
5	購買ニーズの変化への対応	55	12.3%	— 5	15	在庫の不足	11	2.5%	↓ 14
6	需要の停滞	49	11.0%	— 6	16	在庫の過剰	8	1.8%	↓ 15
7	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	47	10.5%	↑ 9	17	代金回収の悪化	7	1.6%	↓ 16
7	金利負担の増加	47	10.5%	↑ 8	18	購買力の他地域への流出	6	1.3%	↓ 16
9	新規参入者の進出や同業者の増加	38	8.5%	↓ 7	19	生産設備の過剰	1	0.2%	— 19
10	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	26	5.8%	↓ 9					

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。